

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 高知県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	高知県立高知丸の内高等学校 ① 事前学習・事後学習 1年次生（166名） ② 講演・実技体験 全校生徒（496名）、教職員（30名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ 講演は学校行事 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックを通じて「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」、「郷土や外国の文化」などに関する学びの機会を提供し、県民のスポーツに対する理解を深め、大会後も県民が主体的、積極的にスポーツ活動に参画する持続可能なスポーツ環境づくりにつなげるとともに、オリンピック・パラリンピックへの県民の意識を高め、2020年東京大会に多くの県民が主体的に取り組む機運の醸成を図る。
5 取組内容	高等学校及び特別支援学校を中心に、学校の授業においてオリンピック・パラリンピックそのものについての学びと、オリンピック・パラリンピックを通じた「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」、「郷土や外国の文化」などの学びを展開する。 ○パラリンピアン（池 透暢氏）の講演・実技体験を中心とし、保健体育科教員による事前学習、事後学習を実施。 (1) 事前学習 日時：平成29年12月18日（月）、21日（木） 場所：高知丸の内高校 多目的教室 対象者：1年次生（166名） 内容：オリンピズム。オリンピズムの歴史。国際オリンピック委員会の活動。東京大会に出場が期待される県内選手等。

5 取組内容

(2) 講演・実技体験

日時：平成29年12月22日（金）

場所：高知丸の内高校体育館

対象者：全校生徒（496名）、教職員（30名）

講師：池 透暢氏（日興アセットマネジメント）

リオデジャネイロパラリンピック

ウェルチェアラグビー日本代表キャプテン

銅メダリスト

演題：「挑戦することの大切さとスポーツの魅力」

(3) 事後学習

日時：1月15日（月）、18日（木）

場所：高知丸の内高校 多目的教室

対象者：1年次生（166名）

内容：事前学習、講演の振り返り。パラリンピックとは。スポーツの魅力等。



講演会の様子



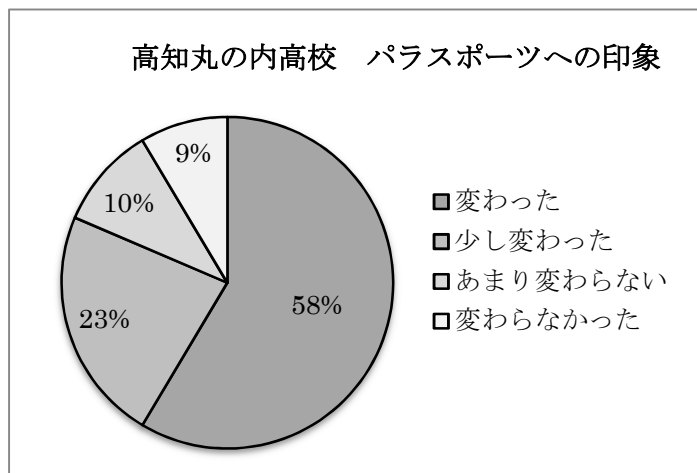
実技体験の様子



事後学習の様子

6 主な成果

(1) アンケート (抜粋)



○つらい過去もあるし、つらい現実もある。それを諦めずに乗り越え生きる理由に変換できることを、私は素直に尊敬しました。

○いつもオリンピックの方ばかりに注目していたけど、パラリンピックにも注目すべきだったなと思いました。パラリンピックや障害者スポーツがとても身近なものに感じました。

○努力を重ねてこそ得たものに価値があるというのを聞いて、コツコツと努力し、挑戦することを恐れず夢をつかみ取りたいです。

この事業をきっかけに、生徒のいろいろなスポーツへの興味・関心が広がっていただきたいと思います。

(2) 地域セミナーへの参加

中核拠点である日本体育大学の担当者の方から、事業についての詳細な説明があり、取組についてのイメージができた。I'm POSSIBLEの紹介もあり大変参考になった。

(3) 実践発表

推進校の発表が他校で実践に参考になればよいと思う。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	地域セミナーで紹介のあった、I'mPOSSIBLEを活用して、事前学習、事後学習の内容を検討した。時間数に限りがあるため、ワークシートを作成し授業の中で活用した。
8主な課題等	全校生徒が講演を聴くことができたが、授業は時間割の都合上、1年生次生のみの実施となった。 オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料やI'mPOSSIBLEを活用し、継続した授業確保が効果的であると考えます。
9来年度以降の実施予定	来年度も継続してオリパラ教育に取り組む予定。